

発 言 通 告 書

令和 7 年 12 月 2 日

松山市議会議員 原 俊 司 殿

松山市議会議員 渡 部 克 彦

次のとおり通告します。

発言順位	1 0	受領日時	12 月 2 日 午前・午後 11 時 55 分	2 枚中 1 枚目
質問等の方式	一問一答方式 ・ 一括方式			発言時間 約 45 分
答弁を求める者	・市長 ・教育長 ・選挙管理委員会委員長 ・公平委員会委員長 ・農業委員会会長 ・監査委員 ・公営企業管理者			

No	件 名	発 言 の 要 旨
1	学校給食の現状と学校給食における有機米及び有機野菜の導入について	<p>(1) 食材の価格上昇の詳細及び保護者の経済的負担の詳細を問う。</p> <p>(2) 市立小・中学校給食に、有機米や地場産米を導入することについて、どのような実績を上げ、今後はどう展開していく考えか。</p> <p>(3) 地域の米農家と給食との長期契約、有機米や地場産米の導入、行政と JA による流通支援などをセットにした政策について見解を問う。</p> <p>(4) 有機米の納入では一定の成果が得られそうであるが、有機野菜については、どうすれば学校給食に納入できるのか、課題の解決方法を問う。</p>
2	城山の土砂崩れについて	<p>(1) 緑町土砂災害生活再建金給付事業について、令和 6 年度末及び直近の予算施行状況と予算執行率を併せて問う。</p> <p>(2) 城山の土砂崩れで被災した方々ができるだけ早く元の生活に戻れたのか。</p> <p>また、被害を受けた建物などを原状回復することはできたのか。</p> <p>さらに、緑町の被災住民が納得できているとお考えか、市長の見解を問う。</p> <p>(3) 本市は緑町住民との対話ができているか、市長の見解を問う。</p> <p>(4) 本市と緑町住民の主張が食い違っていることは具体的に何だと認識しているのか。</p> <p>(5) 緑町住民が何を望んでいると認識しているのか。</p> <p>また、望んでいることに対して具体的に何を協力しているのか。</p> <p>(6) 緑町住民から本市の対応は誠実で信頼できると評価されていると考えているか。</p>
3	中学校の部活動の地域移行について	<p>(1) 部活動の地域クラブ化に当たり、今後必要となる指導者数及び現時点で確保できている指導者数を問う。</p>

